

企画展 きかくてん どっこい こうして生きてきた い  
一写真でみる協和町のいま・むかしーを開催中！ しゃしん きょうわちょう かいさいちゅう

現在、協和町は改良住宅が建設され住環境は改善されました。しかし、改良住宅が建設されるまで多くの人びとは「九軒長屋」や「百軒長屋」などと呼ばれる長屋やバラック建ての住居に住んでいました。長屋には共同井戸や共同水道がありましたが、その近くに汲み取り式の共同便所があったため不衛生な住環境でした。

差別による貧困が原因で、多くの人びとが不衛生で劣悪な住環境での生活を余儀なくされていました。

今回の企画展では、住環境や人びとの生活の様子の変化を振り返るとともに、懐かしさに留まることなく、差別のない社会を実現するためにはどのようにすればよいかを考える機会とします。



共同便所の近くに共同水道

1959（昭和34）年撮影 中田鉄氏提供

- ◎開催期間 : 10月1日～2017（平成29）年2月12日
- ◎開館時間 : 午前9時30分～午後6時30分
- ◎休館日 : 月曜日（但し、祝 休日の場合は開館）、年末年始
- ◎入館料 : 無料
- ◎学芸員解説 : 10月18日（火）、11月27日（日）、  
1月26日（木） 各日午後2～3時  
（但し、11月27日のみ午後1時～2時）
- 場所 : 舩松人権歴史館特別展示室内